

# 異文化環境でチームの力を引き出す グローバル・ファシリテ ーション・スキルとは？①

3月18・19日 NYで開催

## ピープルフォーカス・コンサルティング アスパイア・インテリジェンス

昨年より北米でのサービス提供を協同展開している、組織開発・人材開発のパイオニア、ピープルフォーカス・コンサルティング(以下PFC)と、戦略コンサルティング会社のアスパイア・インテリジェンス(以下ASPIRE)が、来る3月18日、19日に公開セミナー「グローバル・ファシリテーション研修」を実施する(詳細は下記広告を参照)。そこで、ファシリテーションとは何か、どのように組織力向上に貢献するのか、今週号と来週号の2回にわたり解説する。

### ファシリテーター型リーダーが求められている

2009年8月1日のニューヨークタイムズの取材で、シスコ・システムズの

最高経営責任者(CEO)のジョン・チェンバース氏はこう語っている。

「私は指示命令型の人間だ。『右を向け』と言って、6万7000人が本当に右を向くと、快感だ。しかし、このスタイルは過去のもの。今日は、違ったりダーシップスタイルが要求されている。それは、もつと協力し合い、チームワークを組むスタイルだ」

このようなりーダーシップスタイルに必須のスキルが「ファシリテーション・スキル」だ。

09年にPFCがファシリテーション研

修の受講者700人を対象に行った調査でも、「社内にはファシリテーター型リーダーといえる人はいますか？」という問

公開セミナーの様子



いに対して、「YES」という回答が21%。一方で、「これからファシリテーター型リーダーはますます必要となるか？」という問いに対しては、52%が「YES」と答えている。

### ファシリテーションとは？

この「ファシリテーション」についてPFCでは次のように定義している。

中立的な立場で、  
チームのプロセスを管理し、  
チームワークを醸成しながら、  
チームの成果を最大化するよう支援すること。

チームの威力とは、多様性のあるメンバーが集まってこそ発揮されるもの。多様なメンバーがそれぞれの持てる専門

性やスキルなどを持ち寄り、相乗効果を上げていくのが本来のチームである。米国という異文化の中でビジネスを行う際はおそらく、この多様性に向き合うことになる。そのような環境の中で課題を解決するためには、違いを超え、そして部署や階層を超えた本来のチームが必要なのだ。そこでは、社員が主体性を持ち、互いを尊重しながら、チームのメンバー同士が活性化し合うことのできる、高いコミュニケーション能力が要求される。

市場環境の変化が激しく、限られたリソースで生き抜いていかなければならない今だからこそ、組織を健全かつ強固にするためには、チームワークを引き出し、チームの成果を最大化できる、この「ファシリテーション・スキル」が強く求められている。

## 学ぶ ビジネス

### 広告特集

執筆・・・アスパイア・インテリジェンス  
代表 リップシャッツ信元夏代  
監修・・・ピープルフォーカス・コンサルティング